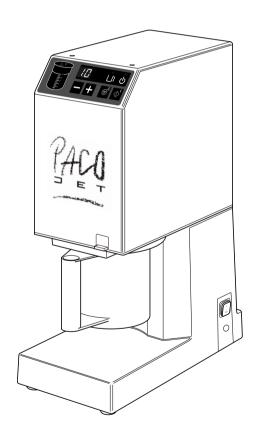


### 冷凍食材粉砕調理器【パコジェット】 PJ Jr



## 取扱説明書



このたびは、当社の冷凍食材粉砕調理器【パコジェット】(PJ Jr)をお買い求めいた だきましてまことにありがとうございました。

この商品を安全に正しく使用していただくため、お使いになられる前に、この取扱説 明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、大切に保管し必要なときにお読みください。

保証書は、この取扱説明書の最終ページに記載されております。

必ず「お買上げ日・お買上げ店名 | 等の記入をお確かめください。

保証書付

# 目 次

安全上のご注意	1~6
概要 ·····	7
各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
付属品	10
据付けについて	11 • 12
操作手順 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13 • 14
<b>お手入れ</b>	24 24 • 25 26 ~ 31
故障の診断と手当	34~36
レシピ (料理メニュー) の一例	37
仕様	40
商品保証書	41

## 安全上のご注意

で使用になる前に、この「安全上ので注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください

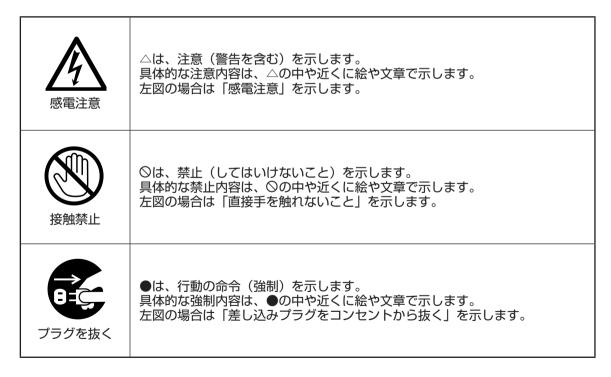
#### 表示と意味は次のようになっています

#### 注意喚起シンボルとシグナル表示の例

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定 される内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生 が想定される内容を示します。

\*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

#### 図記号の例





アース線接続

#### アース線を必ず接続すること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。 アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。



専用電源

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等 の設備のある専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場 合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず 専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原 因になります。



#### 屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気禁止

#### 湿気の多いところや、水などがかかり易いところに据え付けないこと

本体や電源コードに水がかかりますと、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原 因になります。



水掛け禁止

#### 本体に直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



#### 電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだ りすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

#### 電源コードや電源プラグが破損している場合は、使用しないこと

漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



点検清掃

電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に電源プ ラグ(プラグアダプター付)を抜いて確認し、確実に根元まで差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、ショート、感電、火災の原因にな ります。



漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、 お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、ショート、感電、火災の原因になります。



接触禁止

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

電気装置や配線に触れると、感電する恐れがあります。



濡手禁止

濡れた手で電源プラグ(プラグアダプター付)などの電気部品に触れたり、各ス イッチを操作しないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



プラグを抜く

異常時は停止スイッチを押して機械を止め、電源スイッチを「OFF(切)」にし て、電源プラグ(プラグアダプター付)を抜くか、本機専用電源を『OFF(切)』 にしてすぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。



ガス栓閉

ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓をあけて換気す

本機の電源スイッチを「ON(入)」にしたり、電源プラグ(プラグアダプター付) を抜いたりしますと、引火爆発し危険です。



ぶつけたり、落としたりして変形してしまったビーカーは、使わないこと

変形したビーカーを使用しますと、パコタイズをおこなった際にゴールドブレードが破損したり、ゴールドブレードがビーカー内を削ったりして、異物混入の原 因になります。



禁止

スプレーガードを付けずに、ゴールドブレードを取り付けてのパコタイズはしな

本体とホルダーの間から、食材が漏れ出て、周囲を汚す原因になります。



連絡

本機に、ホルダーを取り付けていない状態で、電源スイッチを「ON(入)」にすると、ポーション数設定画面が表示される場合は、電源スイッチを「OFF(切)」 にして、電源プラグ(プラグアダプター付)を抜き、お買上げ店に連絡すること

誤ってスタートスイッチに触れた場合、ケガの原因になります。



プラグを抜く

パコタイズの終了後は、電源スイッチを「OFF(切)」にし、電源プラグ(プラグア ダプター付)も抜くこと

誤ってスタートスイッチに触れた場合、ケガをする恐れがあります。



本機からホルダーを取り外すときは、電源スイッチを「OFF(切)」にして、電 源プラグ (プラグアダプター付)を抜くこと

誤ってスタートスイッチに触れた場合、ケガの原因になります。



ゴールドブレード、スプレーガードの取り付け、取り外しのときは、電源スイッチを「OFF(切)」にして、電源プラグ(プラグアダプター付)を抜くこと

誤ってスタートスイッチに触れた場合、ケガの原因になります。



#### 本機に付属の部品以外は使用しないこと

とくにビーカーやホルダーなどは、他のものを代用され破損しますと、ケガの原 因になります。 異物混入の原因にもなります。



#### ビーカー内に食材以外の物を混入しないこと

異物混入の原因になります。



禁止

#### 摩耗や破損したゴールドブレードは使わないこと

摩耗や破損したゴールドブレードを使われますと、パコタイズをおこなった際に破片が食材に入り異物混入の原因になります。



#### 分解禁止

#### 修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理はおこなわないこと

異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると、ショート、感電、火災など の原因になります。



#### 改造禁止

#### 改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、本体とビーカーの間からの液漏れやショート、感電、火災の原 因になります。



#### 廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、子供などがケガをする原因になります。

専門業者

### <u> 注意</u>



水平据付

#### 丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついていたり、かたむいていたりしますと、転倒、落下によるケガなどの原因になります。



#### 本機の上に重量物や、水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電、ショート、感電の原因になります。



電源プラグ(プラグアダプター付)を抜くときは、電源コードを持って抜かない

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源プラグ内部でコードに傷がつき、ショート、感電、火災の原因になります。



#### 熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

熱で樹脂の部品が変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。



可燃物禁止

#### 可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないこと

本機の電源スイッチを押したり、電源プラグ(プラグアダプター付)を抜いたりすると、発火の原因になります。



洗浄

パコタイズ終了後および、パコタイズ後から、次のパコタイズまでの時間が空くときは、機械のホルダー取付け部の内側とスピンドル(回転する軸部分)を洗浄すること

洗浄しないと付着した食材に雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



プラグを抜く

自動洗浄以外の清掃や点検のときは、必ず電源スイッチを「OFF(切)」にして、電源プラグ(プラグアダプター付)を抜くこと

誤ってスタートスイッチに触れた場合、機械が作動してケガの原因になります。 漏電、ショート、感電の原因になります。



除菌洗浄

使用前と使用後は、ゴールドブレードとスプレーガード、スクレーパーを必ず除 菌洗浄剤で洗浄、清掃すること

洗浄しないと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



本機の食材接触部分は、作業終了後、付属の専用洗浄用器具を使用して、自動洗浄すること

洗浄しないと、付着した食材が腐敗し、雑菌が繁殖して、健康障害の原因になります。

#### **介注意**



洗い流す

#### 自動洗浄のすすぎ洗浄は必ずおこなうこと

すすぎ洗浄をおこなわないと、残った洗浄剤が食材に入り、健康障害の原因になります。



専用洗浄剤

#### 自動洗浄の際、使用する洗浄剤は、本機専用の除菌洗浄剤を使用すること

他の洗浄剤を使用し、洗剤成分が残った場合、食材に入り健康障害の原因になります。



すすぎ洗い

洗剤を使ってゴールドブレードやビーカー、スプレーガード、スクレーパー、ホルダーなどを洗浄したあとは、洗剤成分を十分にすすぎ洗いすること

洗剤成分が残っていると、食材に入り、健康障害の原因になります。



使用後は、機械が完全に停止していることを確認して、電源スイッチを「OFF(切)」 にして、電源プラグ(プラグアダプター付)を抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



動作点検

#### 漏電遮断器は月に1回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。



テープ止め

このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

### 概要

#### ・【パコジェットとは?】

スイスで開発された、コンパクトながらもハイテクノロジーが駆使された新世代の調理人にふさわしい調理機器です。

現在広く使用されているフードプロセッサー、ミキサー、アイスクリームマシーンなど、どの 調理器具にも属さず、それらの機器を使用しなければできないような料理をより効率的に高品 質に仕上げます。

#### ・【パコタイズの意味】

『パコタイズ』とは、冷凍されている材料(液体 + 食材)を解凍することなく、パコジェットを使って、ピューレやムース状にすることを言います。

材料(液体 + 食材)をパコタイズすると 0.01mm 以下の大きさに粉砕されるので、3 回裏でしした以上の今までに経験のない非常に滑らかなピューレやムースができあがります。

食材はザク切りにし、調味料や液体と一緒に付属のビーカーに入れて、-20 ~-23℃で冷凍します。

パコタイズするときは、パコジェットにビーカーをセットし、パコタイズする量(ポーション数)を選択して、パコタイズします。

パコタイズにかかる時間は、パコタイズする量(ポーション数)によって変わります。 最大の 10 ポーションをパコタイズする場合の所要時間は、約4分30秒です。

パコタイズされなかった分、パコタイズしてビーカーから取り出さなかった残りの分は、再度フリーザーなどで冷凍保存し、必要なときにパコタイズしてお使いいただけるため、材料の無駄が抑えられます。

#### ・【パコジェットで可能な料理】 ―

シャーベット、アイスクリーム、スフレ、スープベース、ソース、クネル、フィリング、テリーヌ、ムース、カクテルベース、ババロア、クーリー、ビスク、しんじょう、つみれ、練りものなど。 パコタイズされたものは、グリル、フライ、ベイク、ポーチすることもできます。

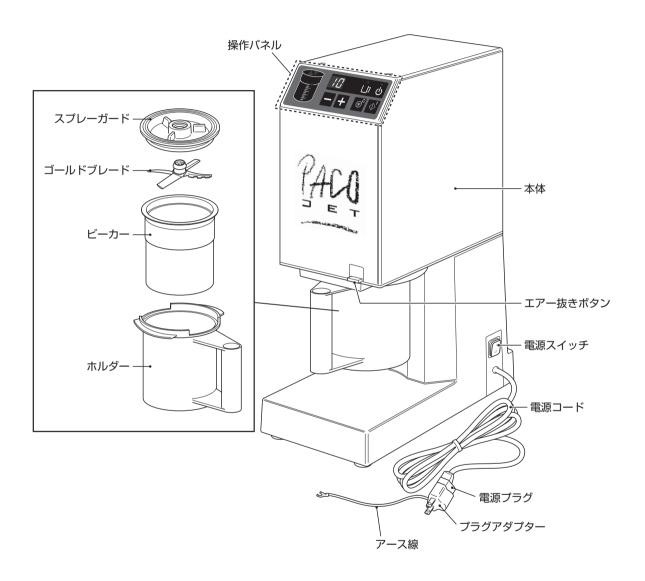
#### ・【ゴールドブレードについて】

パコジェットのブレードには、2種類(ゴールドブレードとシルバーブレード)ありますが、 弊社(株式会社 エフ・エム・アイ)では、品質と耐久性を考慮し、「ゴールドブレード」を採 用しております。

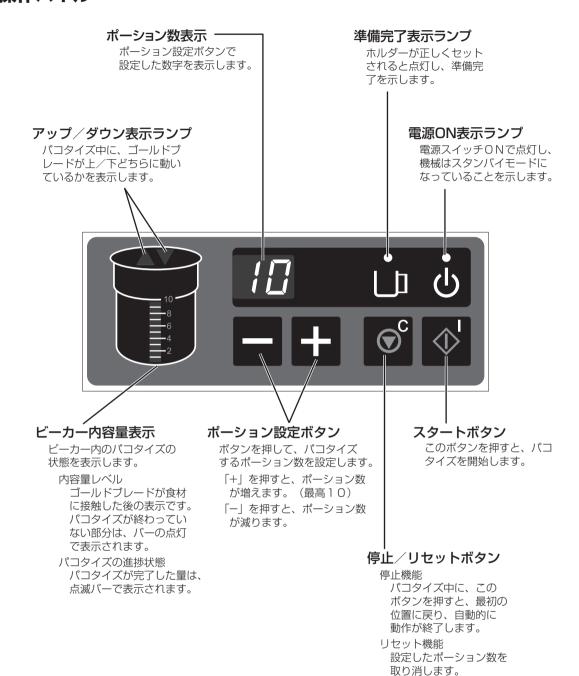
# 各部の名称

本機は、冷凍されている食材をピューレ、ムース状にする機械です。

### 本体



#### 操作パネル



# 付属品

はじめに、下記の付属品が揃っているかチェックしてください。

スプレーガード(黒色) … 1 個	除菌洗浄剤]個	ビーカー蓋1 個
ゴールドブレード1個	リンスアタッチメント (緑色)… 1 個	取扱説明書(本書)1冊
ビーカー1 個	ラバーシール(青色) 1 個	
ホルダー1個	プラスチックウォッシャー (青色)… 1 個	

## 据付けについて

#### ⚠ 警告

 $\bigcirc$ 

湿気の多いところや、水などがかかり易いところに据え付けないこと

本体や電源コードに水がかかりますと、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。

本機の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある 専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電 や発熱、火災の原因になります。

アース線を必ず接続すること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店 に依頼してください。

#### **企注意**



丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついていたり、かたむいていたりしますと、転倒、落下によるケガなどの原因になります。

#### お願い

次のような場所に据え付けますと、故障や破損の原因になりますのでご注意ください。

機械の周囲が高温になる場所には据え付けないでください。

激しい振動がある場所には据え付けないでください。

水や蒸気、または油などがかかるような場所には据え付けないでください。

ファン、または空調機などの吹出し口のある場所には据え付けないでください。

本機の電源コード取出し口および、電源スイッチは右側面後方にありますので、 機械の右側は 150mm 以上空けてください

コンセントの差し込み口が2つ以上ある場合でも、他の電気器具と同時に使わないようにしてください

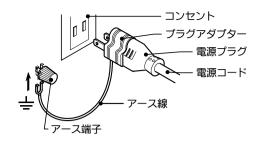
供給電圧: AC100V ± 10%以内

本機は、専用コンセントに電源プラグ(プラグアダプター付)を接続した場合、 コードに余裕があるように据え付けてください

電源コードの長さ: 1.6m

プラグアダプターのアース線 (緑色の線) をアース端子に接続してください

で使用の際は、本機専用のコンセントに 電源プラグ(プラグアダプター付)を差 し込んでください



#### お願い

本機のパッケージは、移動の必要が生じたとき、運搬時の破損を防ぐため保管しておいてください。

### 操作手順

#### パコタイズする材料(液体 + 食材)の準備(冷凍する)

1. ご使用前に、ビーカーとビーカー蓋をきれいに洗浄してください

#### ▲ 警告



ぶつけたり、落としたりして変形してしまったビーカーは、使わないこと

変形したビーカーを使用しますと、パコタイズをおこなった際にゴールドブレードが破損したり、ゴールドブレードがビーカー内を削ったりして、異物混入の原因になります。

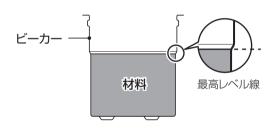
#### お願い

初めてビーカーをご使用になる前は、必ず洗剤をつけたスポンジなどで、内側をよく洗 浄してください。

#### 2. ビーカーに材料(液体+食材)を入れてください

材料(液体+食材)は、ビーカー内側の 最高レベル線(800mL)までの量を入 れてください。

ビーカーに入れた材料(液体+食材)は、 冷凍する前に十分に混ぜ合わせた後、ビー カーの横を軽くトントンとたたいて、材料 (液体+食材)内の空気を抜いてください。



#### お願い

本機に付属されている以外の部品は、絶対に使用しないでください。

ビーカーには、食材全体が浸かる量の液体をいっしょに入れてください。食材だけでパコタイズをおこなっても、うまくパコタイズされません。

材料(液体 + 食材)は、ビーカー内側の最高レベル線を超える量は入れないでください。 最高レベル線を超える量の食材を入れた場合、本機はビーカーの最高レベル線までパコタイズした後、停止します。

本機では、甲殻類 (カニやエビなど) の殻やかたいものはパコタイズしないでください。 ゴールドブレードが摩耗します。

ビーカー内に材料(液体 + 食材)を入れて冷凍する際は、スプーン、カップなどの異物を絶対に混入させないでください。

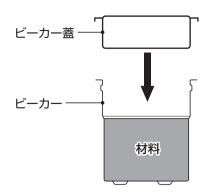
異物が混入した状態で、パコタイズをおこなうと、ゴールドブレードやビーカーを破損します。

ビーカーは、直接火にかけたり、オーブンなどに入れたりしないでください。 熱により、ビーカーが変形する原因になります。

# 3. ビーカーに、しっかりとビーカー蓋をしてください

4. 材料(液体 + 食材)を入れたビーカーを フリーザーに入れて冷凍してください

> 食材は、-20 ~-23℃で 24 時間以上時間 をかけて凍らせてください。



#### お願い

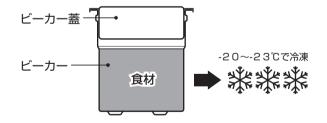
材料(液体 + 食材)が入ったビーカーをフリーザーに入れるとき(再冷凍も含む)は、 表面を平らにし、水平になるようにして入れてください。

表面が平らになっていない状態でパコタイズをすると、ゴールドブレードの刃を傷める恐れがあります。



材料 (液体 + 食材) をきれいにパコタイズするためには、-20℃~-23℃で 24 時間以上、時間(材料によって時間は異なります)をかけてしっかり凍らせてください。 普通のフリーザーで冷凍する場合も、24 時間以上、時間をかけて、しっかり冷凍してください。

冷凍ムラがあると、パコタイズをおこなった際に、ゴールドブレードに負荷がかかり、 ゴールドブレードが破損する恐れがあります。

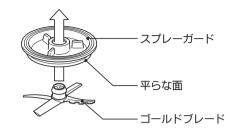


急速冷凍機を使って、材料(液体 + 食材)を冷凍しないでください。 凍結時間が短いため、材料(液体 + 食材)の凍結密度が高くなり、パコタイズをおこなった際に、ゴールドブレードを破損する恐れがあります。

#### ビーカーに入れて冷凍した材料(液体 + 食材)をパコタイズ

- 1. ご使用前に「お手入れ」の項目を参照して、ゴールドブレードとスプレーガード、本体を洗浄、清掃してください
- 2. スプレーガードに、ゴールドブレー ドを取り付けてください

スプレーガードの平らな面がビーカー側に向くように、下向きにしてください。 下からスプレーガードの穴に、ゴールドブレードの軸を挿入してください。



#### 3. 本体のブレードホルダーに、スプレー ガードを付けたゴールドブレードを 取り付けてください

ブレードホルダーは、歯車状の先端部分にマグネットがついています。

この部分に、ゴールドブレードの軸穴部(歯車状の溝)を合わせてはめ込んでください。

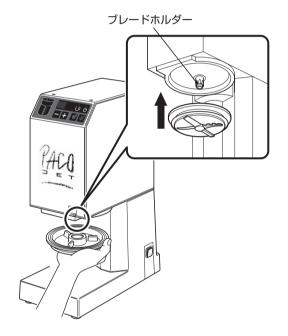
#### お願い

ゴールドブレードの中央を下から手で押さえ、「ガチッ」と音がして、マグネットで固定されたことを確認してください。 はめ込みかたが悪いと、パコタイズ中にゴールドブレードが脱落し、ゴールドブレードやビーカーを破損する恐れがあります。

スプレーガードを付けたゴールドブレードを必ず先に本体側のブレードホルダーに確実にはめ込んでから、ホルダーをセットしてください。

スプレーガードとゴールドブレードをホルダーの上に乗せて本体にセットしない でください。

スプレーガードとゴールドブレードをホルダーの上に乗せて本体にセットすると、取り付けが確実におこなわれず、パコタイズ中にゴールドブレードが脱落し、ゴールドブレードやビーカーを破損する恐れがあります。



#### 4. 材料(液体 + 食材)を入れて冷凍したビーカーをフリーザーから取り出し、 ビーカー蓋を取り外してください

#### お願い

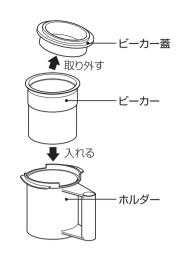
材料 (液体 + 食材) を入れて冷凍したビーカーは、 パコタイズする直前にフリーザーから取り出して 直ぐにパコタイズしてください。

ビーカーをフリーザーから出して、常温でしば らく放置しますと、ビーカー内壁と材料(液体 + 食材)の間の部分が溶けてしまいます。

ビーカー内壁と接する部分の材料(液体+食材)が溶けた状態で、パコタイズをおこなうと、ゴールドブレードが材料(液体+食材)に張り付き、ビーカー内でクルクルと回すだけで、パコタイズされません。

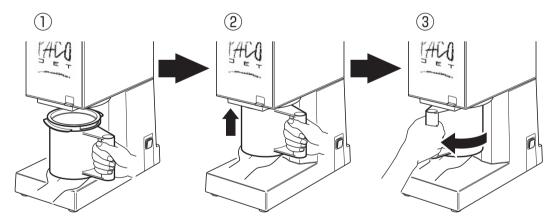
その場合、ディスプレイにはエラーの画面が表示されて停止します。

機械が元の状態にもどるには、材料(液体+ 食材)が溶けてゴールドブレードから外れるまで待たなければなりません。



#### 5. ホルダーに、冷凍したビーカーを入れてください

#### 6. ホルダーに、ビーカーを入れた状態で、本体に取り付けてください



- ① 本機のホルダー取付け部の真下に、ホルダーの取手が右横に来るようにして持ってください。
- ② 本機のホルダー取付け部の中央に、下からまっすぐ押しあげてはめ込んでください。
- ③ ホルダーの底をもう一方の手で押し上げながら、ホルダーの取手を時計方向に止まる (90°) まで、しっかり回してください。

ホルダーのふちのツバが、ホルダー取付け部のツバ受けに入り、取手が本体前面の垂直の 位置に来るようにしてください。

ホルダーを回す際、少々固い場合がありますが、これは密閉するためで故障ではありません。

#### お願い

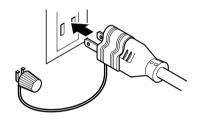
ホルダーは、しっかりと取り付けてください。 ホルダーが、しっかりと取り付けられていない と、操作パネルの「準備完了表示ランプ」が点 灯しません。

「準備完了表示ランプ」が点灯しないと、スタートボタンを押してもパコタイズが開始されません。

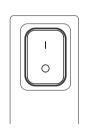
ホルダーが、しっかりと取り付けられていない 状態で、パコタイズを開始できても、ゴールド ブレードが接触し、ゴールドブレードやビー カーが破損する原因になります。



7. 専用コンセントに電源プラグ(プラグア ダプター付)を差し込んでください



8. 本機の電源スイッチを「ON(入)」にしてください



操作パネルの「電源 ON 表示ランプ」と、「準備完 了表示ランプ」が点灯します。



#### 9. パコタイズするポーション数を設定してください

ビーカー内の材料を全てパコタイズする場合は、ポーション数の設定をする必要はありません。

ポーション数の設定をしないでパコタイズすると、ビーカー内の材料を全てパコタイズします。

ポーション数表示を確認しながら「一」、 または「+」を押してポーション数を設定 してください。

ポーション数設定範囲は、 $1 \sim 10$  ポーションになります。

「+」を押すごとに、ポーション数が増 えます。

「一」を押すごとに、ポーション数が減ります。



凍らせた材料(液体 + 食材)の冷凍温度やかたさによっては、設定したポーションを 超える量をパコタイズすることがあります。

設定したポーション数を取り消すときは、停止/リセットボタン「図」を押すと、ポーション数設定がキャンセルされ、メニュー画面に戻ります。

パコタイズ中は、「+」、または「-」の操作は受け付けません。

#### お願い

複数種類の材料(液体 + 食材)を同じビーカーに入れて冷凍したとき、比重により材料が、 ビーカー内で均一に混ざらないことがあります。

材料が、ビーカー内で均一になっていないときは、使用量に関係なく、ポーション数をポーション数を 10 に設定して、ビーカー内を全てパコタイズしてから、必要な量だけを取り出してください。

残った分は、再びビーカーごと冷凍保存してください。

残った分を冷凍保存する前に、材料の表面をならし、水平になるようにしてから冷凍してください。

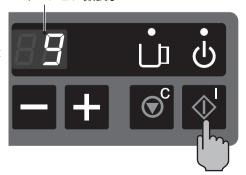
### 10. スタートボタン「❷」を押してください

設定したポーション数をパコタイズします。

ポーション数の設定をしないでスタートボタン 「♥」を押したときは、ビーカー内の材料(液体+食材)を全てパコタイズします。

最大の 10 ポーションをパコタイズする場合の 所用時間は、約4分30秒です。

#### ポーション数表示

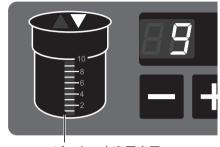


パコタイズを途中で止めたい場合は、停止/リセットボタン「<sup>©</sup>」を押してください。

停止/リセットボタン「 <sup>◎</sup>」を押してパコタイズを途中で止めた場合、ゴールドブレードが元の位置に戻って停止するまで待ってください。

ビーカー内容量表示は、ビーカー内のパコタイズの状態を表しています。

- 「▼」と「▲」は、ゴールドブレードが降下、または 上昇していることを表します。
  - 「▼」が緑色の場合……降下
  - 「▲」が緑色の場合……上昇



ビーカー内容量表示

パコタイズ中は、1ポーション終わるごとに、ポーション数表示の数値が1ずつ減ります。

ビーカー内容量表示は、以下のとおりになります。 ゴールドブレードが材料(液体 + 食材)に当た るまで表示はありません。

ゴールドブレードが材料(液体 + 食材)に当たると、ビーカー内の材料(液体 + 食材)の量を 緑色のランプで点灯で表示します。

パコタイズが 1 ポーション終わるごとに、終わった部分が点滅に変わっていきます。

ランプの点灯……パコタイズされていない量 ランプの点滅……パコタイズが終了した量

ビーカー内の材料(液体+食材)の量より、設定 したポーション数のほうが多い場合は、ポーショ ン表示部に不足している材料(液体+食材)分の ポーション数を点滅表示します。

パコタイズが終わると、ゴールドブレードは最初の位置まで戻ります。 ゴールドブレードが最初の位置まで戻るまで待ってください。

#### お願い

ゴールドブレードが最初の位置に戻って停止するまで、ホルダーを取り外したり、電源スイッチを「OFF(切)」にしたりしないでください。

ビーカー内の食材が飛び散ったり、ゴールドブレードやビーカーの破損、または機械の故障の原因になります。

#### 11. 電源スイッチを「OFF(切)」にして、電源プラグ(プラグアダプター付) を抜いてください

#### ⚠ 警告



パコタイズの終了後は、電源スイッチを「OFF(切)」にして、電源プラグ(プラグアダプター付)を抜くこと

誤ってスタートスイッチ「♥」に触れた場合、ケガをする恐れがあります。

#### 12. ビーカー内の圧力を抜いてください

パコタイズ中は、ビーカー内に高い圧力がかかっています。

エアー抜きボタンを押して、ビーカー内の圧力を抜いてください。

エアー抜きボタンを押すと、「プシュー…」という音がしてビーカー内の圧力のかかった空気が出ます。

#### お願い

圧力が抜けない場合は、圧力逃がし口に食材な どがこびり付いて詰まっている可能がありま す。

圧力逃がし口がふさがっている場合は、応急処置として、下側から覗いて爪楊枝などを使い、 圧力逃がし口の穴に付着した材料を除去して から、圧力を抜いてください。

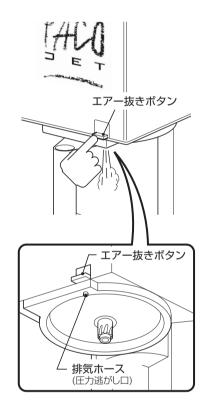
ビーカー内に圧力がかかったままの状態では、ビーカーを本機から取り外すことができません。

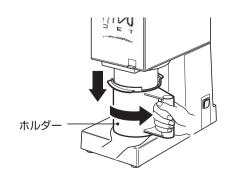
圧力逃がし口は、本機を清掃するときに必ず洗浄 してください。

パコタイズ終了後、ビーカー内に圧力がかかったままの状態では、ビーカーを本機から取り外すことができなくなります。

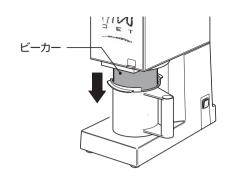
# 13. ホルダーとビーカーを本体から取り外してください

ホルダーの取手を持って、反時計方向に右横まで回し、ホルダーを下に降ろしてください。

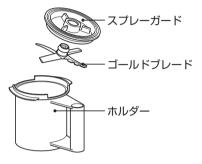




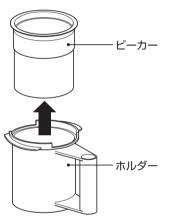
ビーカーは、スプレーガードと共に本体側にくっついている場合は、ビーカーを両手で持って取り外し、ホルダー内に落としてください。



14. ビーカーから、スプレーガードとゴールドブ レードを取り外してください



15. ホルダーからビーカーを取り出してください



16. **ビーカーからパコタイズされた材料(液体 + 食材)を取り出してください** スプーンなどを用いて、ビーカーからパコタイズされた材料(液体 + 食材)の必要な分を 取り出してください。

#### お願い

ビーカー内の材料(液体 + 食材)を全部 パコタイズしなかったとき、またはパコ タイズした材料(液体 + 食材)を全て使 わなかったときは、材料(液体 + 食材) の表面を水平にしたあと、ビーカー蓋を 取り付けて、素早くフリーザーに戻して ください。

残った材料(液体+食材)は、溶けた状態で再度パコタイズしないでください。



# 17. 使用後、ゴールドブレードとスプレーガード、空になったビーカーは、速やかに洗浄してください

洗浄方法については、「お手入れ」(23ページ)を参照してください。

#### お願い

ゴールドブレードとスプレーガードは、1回のパコタイズ終了毎に取り外して洗浄してください。

#### <u></u> 注意



パコタイズ終了後および、パコタイズ後から、次のパコタイズまでの時間が空くときは、機械のホルダー取付け部の内側とスピンドル(回転する軸部分)を洗浄すること

洗浄しないと付着した食材に雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。

### お手入れ

いつも清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、使用後は速やかに各部をお 手入れしてください

#### ⚠ 警告



#### 本体に直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。

#### **注意**



自動洗浄以外の清掃や点検のときは、必ず電源スイッチを「OFF」(切)にして、電源プラグ(プラグアダプター付)を抜くこと

誤ってスタートスイッチ「<mark>▼</mark>」に触れた場合、機械が作動してケガの原因になります。 漏電、ショート、感電の原因になります。

#### お願い

ホルダーおよびスプレーガード、ラバーシール、プラスチックウォッシャーを洗浄するときは、食器洗浄機などは使用せずに80℃以下のお湯で洗浄してください。

高温洗浄すると樹脂部品が変形したり、変色する恐れがあります。

洗浄や清掃をするときは、かたいタワシなどでこすらないでください。 傷がつく恐れがあります。

清掃をするとき、クレンザー、酸類、アルカリ性洗剤、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。

傷がついたり、破損の原因になります。

気泡性、強力な浸食性、有毒性のある洗浄剤は絶対に使用しないでください。 やむを得ず、塩素系の洗剤や電解酸性水、オゾン水などを使用して洗浄をおこなう場合は、 漬け置きしないで洗浄してください。

洗浄後は、十分すすいでから速やかに水気を切り、完全に乾燥させてください。 塩素系の洗剤や電解酸性水、オゾン水などに、漬け置きしますと、錆および腐食の原因になります。

除菌洗浄をおこなう際の洗浄剤は、付属のものを使用し、入れすぎないようにしてください。

濃度が濃すぎると金属、プラスチック、ゴムの部品を損傷します。 除菌洗浄剤がなくなりましたら納入代理店、または弊社にご注文ください。

除菌洗浄剤、アルコール除菌剤の使用については、各々の定める使用方法および、使用 トの注意事項に従ってください。

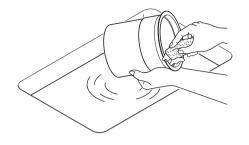
ゴールドブレードは、比較的錆びにくい材質ですが、錆を防ぐため洗った後は、水分を 拭き取り、完全に乾燥させてください。

しばらく使用しないときは、食用油を薄く塗布しておいてください。 食用油を塗布した場合は、次の使用前にペーパータオルなどで拭き取ってください。

#### 初めてビーカーを使用する場合

初めてビーカーをご使用になる前は、内側を洗浄してください。

- 1. 洗浄剤をしみ込ませた布かスポンジを用いてきれいに洗ってください
- 2. 洗浄したビーカーは、きれいな水、または 温水で、洗剤成分が残らないように、十分 すすぎ洗いをしてください



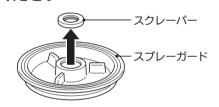
#### ゴールドブレードとスプレーガード、空になったビーカーの洗浄

ゴールドブレードとスプレーガードは、ご使用前とパコタイズ終了毎に取り外して洗浄してください。

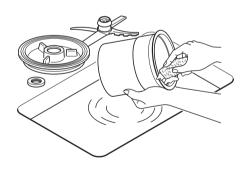
パコタイズ終了後、空になったビーカーも洗浄してください。

- 1. 水、または温水を流しながら、すすいで付着した材料を洗い流してください
- 2. スプレーガードからスクレーパーを取り外してください

スクレーパーは、スプレーガードに取り付けられている白色の部品です。



4. コンテナやシンクに、ぬるま湯を入れ、定められた使用濃度の分量の除菌洗浄剤を入れて溶かしてください



5. 除菌洗浄剤を入れたぬるま湯で、布かスポンジを用いてきれいに洗ってください

### お願い

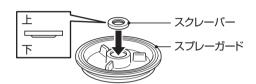
各部品は、かたいタワシなどでこすらないでください。 傷がつく恐れがあります。

ゴールドブレード、ビーカーの洗浄は、速やかにおこない、洗浄液や水、湯に漬けたままにしないでください。

漬け置きをしますと、金属部分が錆びる原因になります。

- 6. 洗浄した各部品は、きれいな水、または温水で、洗剤成分が残らないように、 十分すすぎ洗いをしてください
- 7. 各部品は、速やかに除菌済みのきれいな乾いた布などで水分を拭き取り、十分空気乾燥させてください
- 8. アルコール除菌剤をしみ込ませた布で、各部品を拭いて除菌をおこなってください
- 9. スクレーパーをスプレーガードに取り付けてください

スクレーパーは、上下の向きがありますので、 スプレーガードに取り付けるときは注意してく ださい。



#### お願い

スプレーガードにスクレーパーを忘れずに取り付けてください。

スクレーパーが取り付けられていない状態で、スプレーガードを使ってパコタイズをおこなうと、本機内部に材料(液体 + 食材)が入り込み、故障の原因になります。 本機内部に入り込んだ場合、食材が腐敗すると、健康障害の原因になります。

スプレーガードとスクレーパーの状態を確認し、大きな傷があったり、劣化している場合は、新しいモノと交換してください。

大きな傷があったり、劣化している状態で、使用を続けますと、本機内部に材料(液体+食材)が入り込み、故障の原因になります。

本機内部に入り込んだ場合、食材が腐敗すると、健康障害の原因になります。

### 本機に食材が接触する部分の洗浄

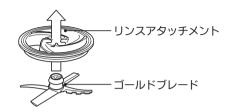
パコタイズ終了後および、パコタイズ後から次のパコタイズまでの間隔が開くときは、機械のホルダー取付け部分の内側と、スピンドル(回転する軸部分)を以下の説明にしたがって洗浄してください。

洗浄効果を高めるためには、必ず除菌洗浄と2回のリンス操作(除菌洗浄の前後で1回ずつ)をおこなってください。

1. リンスアタッチメント(緑色)に、ゴールド ブレードを挿入してください

#### お願い

本機に付属されている以外の部品は、絶対に使用しないでください。

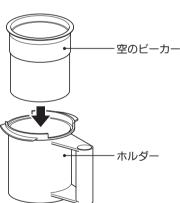


2. ゴールドブレードを付けたリンスアタッチメントを本機に取り付けてください

スプレーガードを取り付ける手順と同じです。



3. ホルダーに、空のビーカーを入れてく ださい



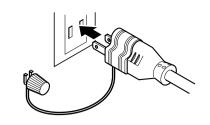
4. ビーカーの中に、上のふちから 10mm の高さまで温水(約 40°C)を入れて ください

熱湯は絶対に入れないでください。

5. ホルダーを本体に取り付け、取手が手前にくるように時計方向に回してください



6. 専用コンセントに電源プラグ(プラグア ダプター付)を差し込み、電源スイッチ を「ON(入)」にしてください



7. スタートボタン「♥」を押して、洗浄操作 を開始してください

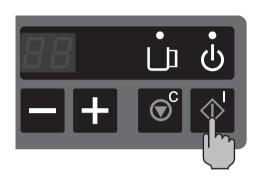
すすぎ洗浄が開始されます。

すすぎ洗浄中に、エアー抜きボタンを数回押してください。

水が、排気ホース内を通過して洗浄し、圧力逃がし口より出てきます。

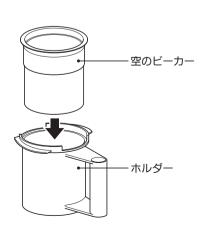
圧力逃がし口の下に適当なビーカーや布巾などを置いて、出てくる水などを受けてください。

すすぎ洗浄終了後、エアー抜きボタンを押して、 ビーカー内の圧力を抜いてください。

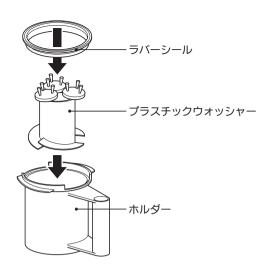




- 9. 本機からホルダーを外して、ゴールドブレード、リンスアタッチメントも取り外し、ビーカー内の温水を捨ててください
- 10. ホルダーに、空のビーカーを入れてく ださい



11. ビーカー内に、ブラシを上に向けてプラスチックウォッシャー(青色)を入れ、ビーカーのふちにラバーシール(青色)をはめてください

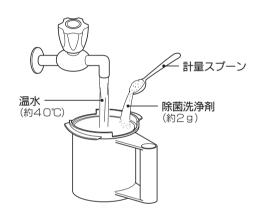


12. プラスチックウォッシャーのブラシの下まで(約0.9L)、温水(約40°C)を入れてください

熱湯は絶対に入れないでください。

13. ビーカー内に付属の除菌洗浄剤 (約2g) を計量スプーンで入れてください

入れる量は、除菌洗浄剤の指定の分量を守ってください。



14. ホルダーを本体に取り付け、取手が手前にくるように時計方向に回してください

#### お願い

洗浄操作のときは、ゴールドブレードは絶対に取り付けないでください。

ゴールドブレードを取り付けて洗浄操作をおこなうと、プラスチックウォッシャーと

ゴールドブレードが破損します。

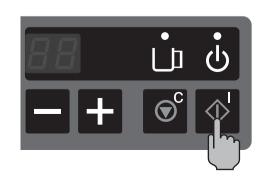
15. スタートボタン「▼」を押してください

除菌洗浄が開始されます。

除菌洗浄中に、エアー抜きボタンを数回押してください。

洗浄液が、排気ホース内を通過して洗浄し、圧力逃がし口より出てきます。

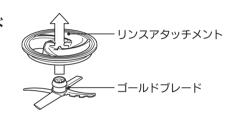
圧力逃がし口の下に適当なビーカーや布巾などを置いて、出てくる洗浄液を受けてください。



除菌洗浄終了後、エアー抜きボタンを押して、 ビーカー内の圧力を抜いてください。



- 16. 本機からホルダーを外して、ラバーシール、プラスチックウォッシャーを取り出し、ビーカー内の洗浄液を捨ててください
- 17. リンスアタッチメント(緑色)に、ゴールド ブレードを挿入してください



18. ゴールドブレードを付けたリンスアタッチメントを本機に取り付けてください

スプレーガードを取り付ける手順と同じです。



19. ビーカーの中に、上のふちから 10mm の高さまで温水(約 40°C)を入れてく ださい

熱湯は絶対に入れないでください。

20. ホルダーを本体に取り付け、取手が手前にくるように時計方向に回してください



21. スタートボタン「▼」を押してください

すすぎ洗浄が開始されます。

すすぎ洗浄中に、エアー抜きボタンを数回押してください。

水が、排気ホース内を通過して洗浄し、圧力逃がし口より出てきます。

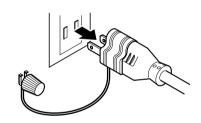
圧力逃がし口の下に適当なビーカーや布巾などを置いて、出てくる水などを受けてください。

- + ©°

すすぎ洗浄終了後、エアー抜きボタンを押して、 ビーカー内の圧力を抜いてください。



22. 電源スイッチを「OFF(切)」にし、電源 プラグ(プラグアダプター付)を抜いて ください



- 23. 本機からホルダーを外して、ゴールドブレード、リンスアタッチメントを取り外し、ビーカー内の温水を捨ててください
- 24. ビーカー、ホルダー、スプレーガード、スクレーパー、リンスアタッチメント、 ラバーシール、プラスチックウォッシャーを除菌洗浄剤できれいに洗浄して ください

ビーカー、ホルダー、スプレーガード、リンスアタッチメント、ラバーシール、プラスチックウォッシャーを定められた使用濃度の除菌洗浄剤を入れたぬるま湯の中で、布かスポンジできれいに洗浄してください。

#### お願い

硬いタワシなどでこすらないでください。 樹脂の部分にキズがつく原因になります。

ビーカーの洗浄は、速やかにおこない、洗浄液や水、湯に漬けたままにしないでください。 漬け置きをしますと、錆びる原因になります。

- 25. ビーカー、ホルダー、スプレーガード、リンスアタッチメント、ラバーシール、 プラスチックウォッシャーは、流水ですすぎ洗いをして、洗剤成分を十分洗 い流してください
- 26. 本体外側は、除菌洗浄剤を入れて溶かしたぬるま湯で布巾を絞り、付着した材料などをきれいに拭き取ってください

#### ⚠ 警告



本体に直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。

#### お願い

硬いタワシなどでこすらないでください。 樹脂の部分にキズがつく原因になります。

圧力逃がし口は、本機を清掃するときに必ず洗浄してください。 パコタイズ終了後、ビーカー内に圧力がかかったままの状態では、ビーカーを本機から 取り外すことができなくなります。

- 27. 本体外側をすすぎ用のきれいな水で絞った布で拭いて、完全に洗剤成分を拭 き取ってください
- 28. 本体外側と、洗浄した各部品は、除菌済みのきれいな乾いた布などで水分を 拭き取り、十分空気乾燥させてください

#### お願い

ゴールドブレードは、比較的錆びにくい材質ですが、錆を防ぐため洗浄した後は、水分を 拭き取り、完全に乾燥させてください。

しばらく使用しないときは、食用油を薄く塗布しておいてください。

食用油を塗布した場合は、次の使用前にペーパータオルなどで拭き取ってください。

29. アルコール除菌剤をしみ込ませた布で、本体外側と、乾燥させた各部品を拭いて除菌をおこなってください

#### お願い

本機を使わないときは、乾燥した場所に保管してください。

#### お願い

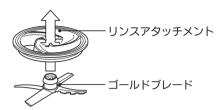
本機に付属しております『FMI除菌洗浄剤」がなくなりましたら、お買上げ店にご注文ください。

#### 水や温水のみのすすぎ洗浄

パコタイズ終了後および、パコタイズ後から次のパコタイズまでの間隔が開くときは、機械のホルダー取付け部分の内側と、スピンドル(回転する軸部分)を以下の説明にしたがって洗浄してください。

洗浄効果を高めるためには、必ず除菌洗浄と2回のリンス操作(除菌洗浄の前後で1回ずつ)をおこなってください。

1. リンスアタッチメント(緑色)に、ゴールド ブレードを挿入してください

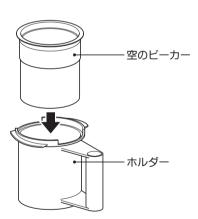


2. ゴールドブレードを付けたリンスアタッチメントを本機に取り付けてください

スプレーガードを取り付ける手順と同じです。



3. ホルダーに空のビーカーを入れてください



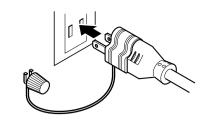
4. ビーカーの中に、上のふちから 10mm の高さまで温水(約 40°C)を入れて ください

熱湯は絶対に入れないでください。

5. ホルダーを本体に取り付け、取手が手前にくるように時計方向に回してください



6. 専用コンセントに電源プラグ(プラグア ダプター付)を差し込み、電源スイッチ を「ON(入)」にしてください



7. スタートボタン「♥」を押して、洗浄操作 を開始してください

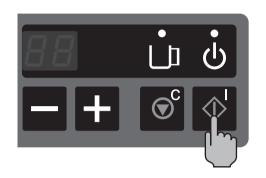
すすぎ洗浄が開始されます。

すすぎ洗浄中に、エアー抜きボタンを数回押し てください。

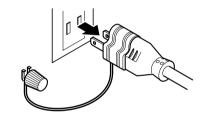
水が、排気ホース内を通過して洗浄し、圧力逃がし口より出てきます。

圧力逃がし口の下に適当なビーカーや布巾などを置いて、出てくる水などを受けてください。

すすぎ洗浄終了後、エアー抜きボタンを押して、 ビーカー内の圧力を抜いてください。



9. 電源スイッチを「OFF(切)」にし、電源 プラグ(プラグアダプター付)を抜いて ください



- 10. 本機からホルダーを取り外し、ホルダーからゴールドブレード、リンスアタッチメントを取り外してください
- 11. ホルダーからビーカーを取り出し、ビーカー内の温水を捨ててください
- 12. ゴールドブレード、スプレーガード、ビーカー、ホルダーは、流水ですすぎ 洗いしてください
- 13. ゴールドブレード、スプレーガード、ビーカー、ホルダーは、除菌済みのきれいな乾いた布などで水分を拭き取り、十分乾燥させてください

#### お願い

ゴールドブレードは、比較的錆びにくい材質ですが、錆を防ぐため洗浄した後は、水分を 拭き取り、完全に乾燥させてください。

## 故障の診断と手当

故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機の電源スイッチを「OFF(切)」にしてから、電源プラグ(プラグアダプター付)を抜いて、早急にお買上げ店までご連絡ください。

ご連絡の場合は、本機の型式名、機番、お買上げ日、故障状況(できるだけ詳しく)をお知らせください。

状 態	原因/確認	手 当
電源スイッチを「ON(入)」 にしても電源 ON 表示ランプ が点灯しない	コンセントに電源プラグ(プラグ アダプター付)が差し込まれてい ない。	
	停電。	通電するのを待ってください。
	本機内のヒューズが切れている。	お買上げ店に連絡してください。
本機に、ホルダーを取り付けていないのに、電源スイッチを「ON(入)」にすると、「準備完了表示ランプ」が点灯する	_	電源スイッチを「OFF(切)」にし、 お買上げ店に連絡してください。
パコタイズ中、ポーション数表示に「PO」が表示された	ビーカー内に、最大レベル線を超える量の材料(液体 + 食材)が入っている。	本機は、一度最大レベル線を超えた部分の材料(液体+食材)だけをパコタイズし、ゴールドブレードが、元の位置に戻って、機械が完全に停止します。機械が停止しましたら、電源スイッチをOFFにし、ホルダー、ビーカーを本機から取り外してください。ビーカー内のパコタイズされた部分を取り出してください。改めて、ビーカー、ホルダーを本機に取り付けて、電源スイッチをONにし、パコタイズをおこなってください。

状 態	原因/確認	手 当
パコタイズ中に、機械が停止し、ポーション数表示に「EE」が表示される	ビーカー内の冷凍食材が多すぎる。	電源スイッチを OFF にしてから、もう一度電源スイッチを ON にして、ゴールドブレードを最初の位置に戻って機械が完全に停止します。機械が停止しましたら、電源スイッチを OFF にし、ホルダー、ビーカーを本機から取り外してください。食材の量が、最高レベル線より少ないビーカーを取り替えて、もう一度電源スイッチを ON にしてください。「EE」の表示が消えましたら次のパコタイズをおこなうことができます。ビーカー内の最大レベル線を超える量の材料(液体 + 食材)を入れないでください。
	ゴールドブレードの装着忘れ、または取り付け不良。	電源スイッチを OFF にしてから、もう一度電源スイッチを ON にして、ゴールドブレードを最初の位置に戻って機械が完全に停止します。機械が停止しましたら、電源スイッチを OFF にし、ホルダー、ビーカーを本機から取り外してください。ゴールドブレードを正しく装着しなおして、ビーカー、ホルダーを本機に取り付けて、もう一度電源スイッチを ON にしてください。「EE」の表示が消えましたら次のパコタイズをおこなうことができます。
	機械に過剰な負荷がかかっているため、パコタイズができない。	電源スイッチを OFF にしてから、もう一度電源スイッチを ON にして、ゴールドブレードを最初の位置に戻って機械が完全に停止します。機械が停止しましたら、電源スイッチを OFF にし、ホルダー、ビーカーを本機から取り外してください。 13ページ~ 14ページを参照して、ビーカー内が適切な状態であることを確認してください。 確認後、ビーカー、ホルダーを本機に取り付けて、電源スイッチを OFF にして、もう一度電源スイッチを ON にしてください。 「EE」の表示が消えましたら次のパコタイズをおこなうことができます。
	「EE」の表示が消えない。	電源スイッチを OFF にして、お買上 げ店に連絡してください。

状 態	原因/確認	手 当
パコタイズ中に、ビーカー内 の圧力が十分に上がらない	スプレーガードの表面に食材など が付着し、本体との密着性が悪く なっている。	スプレーガードの表面に食材などの 異物が付着していれば、きれいに洗 浄してください。
	スプレーガードに亀裂やキズなど がないか確認する。	亀裂やキズなどがあれば、スプレー ガードを新しいものと交換してくだ さい。
	スプレーガード、および本体の取り付け部分に異常がない。	電源スイッチを「OFF(切)」にし、 お買上げ店に連絡してください。
ゴールドブレードが本体側の ブレードホルダーにはまり込 まない。	ゴールドブレードの歯車状の穴 部、および本体側のブレードホル ダーの歯車状外周に食材など が付着しいる。	付着した食材などをきれいに拭き取ってください。
	マグネットの磁力が弱くなって いる。	お買上げ店に連絡してください。
漏電遮断器が切れる。	漏電遮断器のレバーの位置が 「OFF(切)」になっていません か?	漏電遮断器が「OFF(切)」に作動した場合には、お買上げ店へ連絡してください。 レバーが「OFF(切)」になっていると漏電している可能性があります。 無理にレバーを「ON(入)」にすると、感電や火災の原因になります。
電源コードやプラグが異常に 熱くなる	_	お買上げ店に連絡してください。
電源コードを折り曲げると通 電したり、しなかったりする	_	お買上げ店へ連絡してください。
モーターの回転が不規則で あったり、止まったり、遅かっ たりする	_	お買上げ店へ連絡してください。

# レシピ(料理メニュー)の一例

スープヴィシソワース	
ポテト バター オニオン ガーリック チキンブイヨン 生クリーム 塩 胡椒 カエンヌペッパー	350g 20g 200g 3g 100mL 100mL 適量 適量

ホタテ貝のスフレ	
ホタテ貝	300g
卵	2個
生クリーム	400mL
塩	少々
胡椒	少々

ロイヤルミルクティアイスクリーム				
紅茶(葉)	12mL			
牛乳	500mL			
生クリーム	120g			
コンデンスミルク	120g			
砂糖	48g			

メモ	

メモ	

### 仕様

F	7			名	冷凍食材粉砕調理器【パコジェット】
西	빝			式	PJ Jr
9	4	形	寸	法	幅 182・奥行 360・高さ 498mm
冒	<u> </u>			源	100V 50 / 60Hz
冒	Ē			流	11 A
洋	肖	費	電	カ	1 kW (10 分定格)
3	₹	全	装	置	入れ過ぎ検出装置、ホルダー検出装置、過負荷防止装置、モーター保護装置
	<u> </u>	軻	Ī	数	モーター: 10,000 r.p.m. ブレード: 2,000 r.p.m.
7	ポーシ	ノョン	/ 設定	範囲	1 ~ 10 まで(1 ポーション 80mL)
)	(コタ	イズ食	食材冷凍	温度	-20~-23℃
	Z	<b>卜</b> 亿	* 架	台	アルミダイキャスト
	Z	本体シ	ノヤー	シー	ガラス繊維入強化ポリアミド
材	Z	▶ 体	ケー	- ス	ステンレス
	ī	ħ Л	レダ	_	ガラス繊維入強化ポリアミド
	Ł		- カ	_	ステンレス (容量 800mL)
質	Ł	<u> </u>	カー	- 蓋	ポリエチレン
	7	スプレ	ノーガ:	ード	ニトリルゴム
		ゴール	ドブレ	ード	ステンレス刃物鋼(チタンコーティング)
賃	Ę			量	本体:13 kg
冒	10000000000000000000000000000000000000		ı —	ド	長さ:1.6 m

<sup>※</sup>上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

### 梱包内容一覧

梱包箱には、次のものが入っています。足りない場合は、お買上げ店へ連絡してください。

本機	1台
スプレーガード(黒色)	1個
ゴールドブレード	1個
ビーカー	1個
ビーカー蓋	1個
ホルダー	1個
リンスアタッチメント(緑色)	1個
ラバーシール(青色)	1個

### エフ・エム・アイ商品保証書

《本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。保証期間経過後の修理等につきましては、お買上げ店にご相談ください。》

#### 保証期間

保証の効力は、商品お買上げと同時に発生いたします。 その期間は、1年間有効とし、機器本体を対象とします。

#### 保証規定

- 1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、お買上げ店へご連絡ください。弊社にて「無料修理」いたします。
- 2. 保証期間内でも次の場合には「有料修理」となります。
  - 1)ご使用上の誤り、および製品の改造や不当な修理により発生した故障および損傷。
  - 2) 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧その他の外部要因による 故障および損傷。
  - 3) 車輌、船舶に搭載して使用された場合の故障および損傷。
  - 4) お買上げ後の転倒、落下や取付場所の移動などによる故障および損傷。
  - 5) 本書の提示がない場合。
  - 6) 本書にお客様名、お買上げ年月日、お買上げ店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
  - 7) 指定外の使用電源(電圧、周波数)の使用による故障および損傷。
  - 8) 本書は日本国内においてのみ有効です。
  - 9) 消耗部品(ゴールドブレード、ビーカー、ビーカー蓋、スプレーガード、スクレーパー、ホルダー、 リンスアタッチメント、ラバーシール、プラスチックウォッシャー)は、保証の対象範囲から 除外させていただきます。
  - ※ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。 従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げ店にお問い合わせください。

#### 修理対応期間(補修用性能部品の保有期間)

当社では、本製品の修理対応期間(補修用性能部品の保有期間)を販売打ち切り後8年とさせていただいております。

修理対応期間(補修用性能部品の保有期間)を終了している場合は、修理のご依頼をお受けできないことがあります。

F	品 名		冷凍食材粉砕調理器【パコジェット】						
西	型 式			PJ Jr		製造番号			
お客様	ご芳名							様	
	ご住所	₹				TEL.	(	)	
お買上げ店	店名・住	祈							
お買上げ日			年	月	日	無料修理保証期	無料修理保証期間 お買上げ日よ		より 1 年間

## 株式会社エフ・エム・アイ

```
京:〒106-0041東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521
```

大 阪: 〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel. 06(6969)9393

営業所札幌: 〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel. 011(813)8651

仙 台: 〒983-0034 仙台市宮城野区扇町2丁目1番9号 Tel. 022(238)5711

名古屋: 〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel. 052(361)7891

広島: 〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel. 082(876)1855

福 岡:〒812-0839福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北陸: 〒921-8027金沢市神田1丁目23番11号 Tel. 076(243)7810

沖 縄: 〒901-2214 宜野湾市我如古 1 丁目54番21号 Tel. 098(870)2766

サービス 盛 岡:〒020-0124 盛岡市厨川 4 」日 1 4 亩 5 5 7 10.0875(57)5161 ステーション 四 国:〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

東京修理工場:〒130-0011東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ http://www.fmi.co.jp/

201902 PA